

教育ビジョン研究センターは、By EVRI, For Everyoneを合言葉に、革新的な教育デザインの提案と社会貢献を使命とした研究拠点です。本拠点は、3つのユニット、6つのクラスターで構成されます。ロゴは、6つのクラスターが相互に作用しつつ1つの研究拠点を形づくり、広島を起点に、地域の、日本の、そして世界の教育を創造していく姿を現します。



定例セミナーNo.14: 「教師教育者の仕事と アイデンティティ」に 関するワークショップ を開催しました



活動日時 2018年12月10日(月)18:30-20:00

活動従事者 岩田昌太郎, 川口広美, 濱本想子(D1), 草原和博



広島大学インキュベーション研究拠点「教育ビジョン研究センター (EVRI)」は、2018年12月10日(月)に研究拠点創成ワークショップ「教師教育者の仕事とアイデンティティ」を開催しました。オランダのアムステルダム自由大学からAnja Swennen先生をお招きし、EVRIの岩田昌太郎先生と協働的にワークショップ (WS) を実施しました。

まずEVRI代表の草原先生による「教師教育者は常にCongruency (合同性, 言行一致) が問われているのではないか」という問題提起からWSが始まりました。次に岩田先生が、Anja先生の紹介、自身のオランダでのサバティカル時代の苦労話、Anja先生と協働で研究やWSをする夢が実現したこと、などをお話され、今回のWSの趣旨である「教師教育者の特徴を探る」について説明されました。

WS (その1) では、教師教育者の特徴 (重要な資質・能力・態度など) を一人5つ付箋に書き出しグループ内でカテゴリー化する活動をしました。各グ

ループで5つ程度の特徴に集約することを目指しました。WSはコーヒーやお菓子 (Anja先生の差し入れたストロップワッフル) をつまみながらのヨーロッパスタイルの和やかな雰囲気の中で進行了ました。その後Anja先生が、各グループから析出された教師教育者の特徴に対して「Congruency Teacher Educator」の視点から意味づけと価値づけが行われました。

WS (その2) では、学校で働いている教師教育者は、教師としての自分の実践を、教師教育者としての振る舞いにどのように活かすことができるかについて話し合いました。その後、Anja先生から素敵なグリーティングカードが配布され、教師教育者として自分の実践を改善するために来年行いたいこと＝「私の来年の抱負」を書き記す活動もしました。

多様な立場の教師教育者が一同に会し、教師教育者のあり方を考え、自分自身の振る舞いを見直すことができた、充実した会となりました。



HIROSHIMA UNIVERSITY

教育ビジョン研究センター (EVRI)

739-8524

広島県東広島市鏡山一丁目1-1-1

広島大学大学院教育学研究科 気付

TEL/FAX : 082-424-5265

E-mail : evri-info@hiroshima-u.ac.jp

URL :

http://evri.hiroshima-u.ac.jp/

EVRI HP/Facebook

